第38回国民文化祭　第23回全国障害者芸術･文化祭　いしかわ百万石文化祭2023
金沢21世紀美術館特別展

チョコレート　至高の名を与えられしもの

1

『ダンデライオンチョコレート』(新泉社) より
Photo by Eric Wolfinger

2023年10月28日(土)～11月3日(金･祝)
市民ギャラリーA

展覧会名	金沢21世紀美術館特別展　チョコレート　至高の名を与えられしもの
会期	2023年10月28日(土)～11月3日(金･祝) 会期中無休
開場時間	10:00～18:00
会場	金沢21世紀美術館　市民ギャラリーA
料金	無料
主催	文化庁、厚生労働省、石川県、石川県教育委員会、金沢市、金沢市教育委員会、 いしかわ百万石文化祭2023実行委員会、いしかわ百万石文化祭2023金沢市実行委員会、 金沢21世紀美術館[公益財団法人金沢芸術創造財団]
協力	ショコラの街金沢実行委員会、株式会社前田商店、 ピュラトスジャパン株式会社、ダンデライオン･チョコレート･ジャパン株式会社
後援	北國新聞社
お問合せ	金沢21世紀美術館 TEL: 076-220-2800

本資料に関する
お問合せ
金沢21世紀美術館　担当学芸員: 黒澤浩美、立松由美子
広報担当: 石川聡子、落合博晃
〒920-8509　金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814　FAX 076-220-2802
https://www.kanazawa21.jp　E-mail: press@kanazawa21.jp

※本内容は2023年9月現在のものです。記載内容について変更になる場合があります。最新の情報は直接お問合せください。

開催主旨

茶の湯や和菓子を好むイメージが強い金沢ですが、チョコレートの消費においても全国トップクラスです。最近は、特色のあるチョコレート作りに取り組む若手のショコラティエが活躍するなど、金沢の食文化に厚みを加えつつあります。
展覧会「チョコレート 至高の名を与えられしもの」では、世界中の人々に愛されるチョコレートにまつわる工芸作品の展示や手話通訳付きのキュレーターによるギャラリーツアー等の開催を通して、チョコレートを愛する「ショコラの街・金沢」にてその魅力をお伝えします。

展覧会概要

ヨーロッパ植物学者カール・フォン・リンネ（Carolus Linnaeus）によって命名された「テオブロマ・カカオ」は、ギリシャ語で「神々の食べ物」を意味します。このカカオの原産地は中南米の高地、つまり紀元前グァテマラに栄えていたマヤ、そして現在のメキシコにあたるアステカに遡り、その価値は貨幣の地位に押し上げられるほどでした。その後、大航海時代の17 世紀頃、カカオはスペインを介してヨーロッパにもたらされ、緩やかに宮廷から上流階級を中心に嗜好品あるいは滋養飲料として広まっていきました。カカオに砂糖、肉桂（にっき）、ヴァニラなどを混ぜた「この上なきもの」（nec plus ultra）となった「チョコレート」は、上流階級から市民階級へと、また近代化に伴い大衆化して、今日まで世界中で嗜好品として愛されています。
本展覧会では、国内に残る稀覯本や資料によってカカオの通った道を紹介し、人々がカカオを受容した歴史と文化を紐解きながら、チョコレートにまつわる現代美術作品や、チョコレートに見立てることを楽しむ工芸的作品などを紹介します。
また、チョコレートを素材に独自の技術で造形に取り組む、ステファン・ルルー氏の作品も金沢にて初公開します。多彩な種類でそれぞれの好みに合わせて選ぶことが出来るチョコレートが贈り物として重用され、贈る者・贈られる者双方に喜びをもたらしてくれます。「特別な何か」を渡す機会と現代の贈与のかたちをチョコレートを通して考えます。

黒澤浩美（チーフ・キュレーター）

参加アーティスト / デザイナー
（姓の五十音順）

大村大悟、オカサトシ+藤木卓、御菓子丸、OZ-尾頭-山口佳祐、狩野佑真、
オットー・キュンツリ、杉本博司、鈴木マサル、ミリー・スティーブンス、五月女晴佳、
東京香堂、中村卓夫、原嶋亮輔、ヴィック・ムニーズ、八木夕菜、ステファン・ルルー

展覧会の特徴

金沢の食文化となりつつあるチョコレートの歴史と文化を紐解く

国内有数の菓子・チョコレートの資料を持つ前田重兵衛氏のコレクションから稀覯本などを紹介し、世界中で親しまれるチョコレートの歴史を紐解きます。

チョコレートを連想する作品や見立てた作品を展示

チョコレートと聞いて、みなさんはどんな食感や記憶を思い起こすでしょうか。魅惑的で時に官能的な香りや色、口に含んだ時の滑らかさや舌の上で溶ける食感など、様々な記憶が呼び覚まされます。本展覧会では作品の素材やテーマに「チョコレート的な」要素を掛け合わせた作品や、チョコレートと「見立てる」ことが出来る工芸や美術作品を紹介します。

世界的なショコラティエの創造性溢れるチョコレート作品も出展

世界屈指の技術を持ち、チョコレートで工芸的な美を探求するフランス人ショコラティエのステファン・ルルー氏のチョコレートを展示します。10月29日（日）にはステファン氏をお招きし、作品の創造性を支える研究とその実践についてお話しいただくアーティスト・トークを開催する予定です。

手話通訳付き ギャラリーツアーを開催

多様な人たちが展覧会を楽しめるよう、展示作品や見どころを手話通訳付きでご案内します。予約不要で気軽に参加できる15分間のギャラリーツアーです。

参加アーティスト デザイナー

杉本博司

2

杉本博司《ウッド・ボックス》2004
ガラス、木　作家蔵
©Hiroshi Sugimoto / Courtesy of Gallery Koyanagi

ヴィック・ムニーズ

3

ヴィック・ムニーズ
《ピクチャー・オブ・チョコレート：
ダイバー（シスキンドにならって）》1997
チバクローム・プリント　H150×W119.8cm
金沢21世紀美術館蔵
©Vik Muniz / VAGA, New York & JASPAR, Tokyo, 2018

中村卓夫

4

中村卓夫《TATARA》1995
陶土　H40.5×W45.5×D39cm
金沢21世紀美術館蔵
©Takuo Nakamura
photo: Taku Saiki

ステファン・ルルー

5

6

5.［参考作品］ステファン・ルルー《耐候性鋼》
チョコレート　作家蔵
©Stéphane Leroux　photo: Tom Swalens
6.［参考作品］ステファン・ルルー《行列》
チョコレート　作家蔵
©Stéphane Leroux　photo: Tom Swalens

オットー・キュンツリ

7

オットー・キュンツリ《スイス・ゴールド》1983
厚紙、アクリル
H24×W8.5×D4.3cm
京都国立近代美術館蔵
©photo: Otto Künzli, VG Bild-Kunst

ミリー・スティーヴンス

8

ミリー・スティーヴンス《ガードナーズ・チョコレートの箱》1981
絹・手とミシンによる刺繍　H35×W27.5cm
京都国立近代美術館所蔵
©Milly Stevens

原嶋亮輔

9

［参考作品］
原嶋亮輔《A Day in the Harvest》2021
銅、日本の民具、色ガラス（黄）
SOMEWHERE TOKYO蔵
©Ryosuke Harashima　photo:Daisuke Yoshio

八木夕菜

10

八木夕菜《STILL LIFE with a chocolate 01》2023
プリント／紙、アクリル額装
H90×W120cm
作家蔵
©Yuna Yagi

五月女晴佳

11

五月女晴佳《melt》2021
漆、麻布
W32×D10×H34cm
作家蔵
©Haruka Sotome
photo: Kichiro Okamura

大村大悟

12

［参考作品］
大村大悟《実と種》2018
ブロンズ、木の実
作家蔵
©Daigo Ohmura

狩野佑真

13

狩野佑真《Rust Harvest》2022
アクリル樹脂、スチール、銅、錆
H122.5×W83.5×T4.5cm
作家蔵
“Toyama Prefectural Museum of Art and Design
5th Anniversary: Design Scope”
©Studio Xxingham (Licenced under CC-BY-NC-ND 4.0)
©Yuma Kano

御菓子丸

14

御菓子丸
《美味しい結晶》
2023
寒天、甜菜糖、カカオニブ
作家蔵
©Okashimaru

東京香堂

15

東京香堂《カカオ・エッセンス》2023
香料
作家蔵
©Tokyo Kodo

鈴木マサル

16

鈴木マサル《Overlay》2023
シルクスクリーン、綿
H100.0×W100.0×D0.1cm
作家蔵
©Masaru Suzuki
photo: Masaaki Inoue, Bouillon

イベント

アーティスト・トーク　ステファン・ルルー

17

ステファン・ルルー / Stéphane Leroux 氏は、アメリカで開催の洋菓子・チョコレートの世界大会にベルギー代表として2002年と2004年に出場し、チョコレート工芸部門で2度にわたり優勝するなど、数々のプロフェッショナル・コンクールで受賞の実績がある。2004年にはパティスリー・コンフィズリー部門でフランス国家最優秀職人章を受章している。
現在は、プロフェッショナル向けチョコレートブランド「ベルコラーデ」を有する世界的な製菓製パン材料メーカー、ピュラトスグループに所属。2019年にチョコレート技術の専門書「Bleu Chocolat」を出版。コンパニオンフランス職人同業者組合で得た経験を、世界中の職人たちと共有したいという思いから、世界各地で開催される様々な講習会 を通して、自分の経験をプロフェッショナルに伝えることに特に熱心に取り組み、技術の継承に尽力している。
今回は、展覧会に出品している2点の作品を中心に、チョコレートを自在に扱う制作過程やチョコレートの魅力について語る。

講師：ステファン・ルルー
日時: 2023年10月29日（日）13:00〜15:00（12:30開場）
場所 :金沢21世紀美術館 シアター21 ※全席自由
料金：無料
定員：90名
申込：10月4日（水）からWEBフォームにて予約開始
逐次通訳付（仏語→日本語）

お申込はこちら

『チョコレートな人々』映画上映会

18
©東海テレビ放送

福祉と経済、生きがいと生産性、さまざまな人と共に働くよろこびと、その難しさ……理想を追い求めるチョコレートブランド「久遠チョコレート」の19年間を描いたドキュメンタリー映画。

日時：2023年10月28日（土）14:00〜15:42
（13:30開場）
会場：プロジェクト工房
料金：無料
対象：どなたでも　※小学生以下は要保護者同伴
定員：当日先着60名
申込：不要
バリアフリー日本語字幕付き上映

手話通訳付 ギャラリーツアー

展覧会をどなたでも楽しめるよう、展示作品や見どころを手話通訳付きでご案内します。お気軽にご参加ください。

10月28日（土）、11月1日（水）：黒澤浩美（チーフ・キュレーター）、10月30日（月）：宮越文美（コーディネーター）、10月31日（火）：立松由美子（キュレーター）、11月2日（木）：吉備久美子（エデュケーター）

日時：10月28日（土）、30日（月）、31日（火）、11月1日（水）、2日（木）各日13:00〜13:15

受付：各日市民ギャラリーA入口にて12:45から

料金：無料　対象：どなたでも　予約：不要

ワークショップ「五感で感じるチョコレート」

チョコレートにまつわる記憶をくすぐるような体験を、対話で紐解くワークショップ形式のお茶会を開催します。

講師：御菓子丸

日時：10月29日（日）11:30〜12:30 / 13:30〜14:30 / 15:30〜16:30 / 17:30〜18:30

会場：茶室松涛庵立礼席

料金：4,300円（税込）菓子・お茶付

対象：中学生以上　定員：各回6名

申込：10月4日（水）10:00から御菓子丸Storesにてチケット発売開始（先着順）

※参加者の都合によるチケットの払い戻しではできません。ご了承ください。

お申込はこちら

造形ワークショップ「チョコっとデコバッグ」

お菓子の形に切り抜いた型紙と絵の具でペーパーバッグを飾ろう！

型紙はテントに飾ってみんなで「お菓子の家」も作ろう！

日時：10月28日（土）、10月29日（日）13:00〜16:00

会場：キッズスタジオ

料金：無料　予約：不要

対象：どなたでも ※未就学児は要保護者同伴

定員：場内15名程度 ※混雑時入場制限あり

19

アートライブラリー・プログラム「絵本を読もう」

絵本の読み聞かせの後、一緒に展覧会の作品を見に行きましょう。

日時：10月28日（土）15:00〜15:40

集合：キッズスタジオ　料金：無料

対象：どなたでも ※未就学児は要保護者同伴

定員：当日先着4組

読み手：小孫ちさと（ライブラリアン）

作品案内：黒澤浩美（チーフ・キュレーター）

20

関連図書展示

21

チョコレートに関する本を、テントの中でくつろぎながら
お楽しみください。
記念にヨーロッパの古い包み紙の模様を使った栞を配布します。
日時：10月28日（土）～11月3日（金・祝）
　　10:00~18:00（金・土曜日は20:00まで）
　　※10月31日（火）休室
会場：アートライブラリー　料金：無料

16mmフィルム上映会『ヘンゼルとグレーテル』他

「お菓子の家」が登場する『ヘンゼルとグレーテル』など、チョコレートにちなんだフィルムを上映します。
日時：11月3日（金・祝）17:00～17:40
会場：アートライブラリー　料金：無料
対象：どなたでも ※未就学児は要保護者同伴
定員：当日先着10名程度

いしかわ百万石文化祭について

いしかわ百万石文化祭2023は、「第38回国民文化祭」「第23回全国障害者芸術・文化祭」の統一名称で、各種文化について全国規模で発表、共演し、障害のある人もない人も共に参加して交流の輪を広げていく文化祭です。

44日間の期間中に石川ならではの文化資源を活用したイベントや文化団体による27の全国大会など、県内全市町で約150の多彩な文化イベントが開催されます。
石川県での国民文化祭の開催は、平成4年以来2回目となり、全国障害者芸術・文化祭は初開催となります。
今大会では、県民総参加により前回大会から31年分の地域に育まれた文化を未来にアップデートして全国に発信します。

文化絢爛　ぶんかけんらん
第38回国民文化祭　第23回全国障害者芸術・文化祭
いしかわ百万石文化祭2023
令和5年10月14日(土)～11月26日(日)

広報用画像

画像1～21を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、当館プレスルームの画像提供ページからお申し込みください。
https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]
※広報用画像の掲載には各画像のキャプションとクレジットの明記が必要です。
※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。
※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。
※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。